

### 【兵頭所長コメント】

国が提唱している健康寿命の延伸実現に向けて、日本老年医学会は2014年5月に「フレイルに関する日本老年医学会からのステートメント」を発表し、「Frailty（虚弱）」の意味には「しかるべき介入により再び健常な状態に戻るという可逆性が含まれている」ことから、「Frailty」の日本語訳を「フレイル」とし、本来の意味の認知度を上げようとしている。

このような時代的背景にあって、私達の専門とする鍼灸医学によりどのように、どの角度からフレイルの予防・改善が可能かについてパネルディスカッションを行った。兵頭は健康長寿の実現および健康寿命の延伸を目的に天津中医薬大学の韓景献教授が開発した「三焦鍼法」が高齢者の「予備能力」を引き出すことによりフレイル予防・改善の有力な方法の一つとなり得ることを紹介した。所謂、フレイルサイクルをどの角度から打破し、デス・スパイラルからライフ・スパイラルへ変えていくかを提示し、さらに三焦鍼法を認知症の人に応用することにより認知症の人の持っている「予備能力」をしっかりサポートすることにより、多くの認知症の人がご自身の力で認知機能低下を抑制している事例についても紹介を行った。

フレイルという新しい考え方を多くの鍼灸師に知って頂き、多くの鍼灸師が積極的にフレイル予防・改善に参画することを促すために、兵頭の発表スライドPDFを後藤学園中医学研究所HPにて公開することとした。